

状、大阪放送学校、神戸労働学校等、本邦、本邦の労働運動、これ等のが少なり、これ等は日本内外の事情の混同期に直衝したる影響であると見做れる。

出版部は概して「労働運動」毎月刊行して居るが、各組合会ではそれ以外に、雑誌、合同系又は傍系の雑誌を發行して居る。

昭和六年度役員

- 一 中央執行委員長 坂本孝三郎
- 二 顧問 高橋 龜吉、山崎今朝吾、久留 弘三
- 三 會計 監 査 清須清之助、坂本清太郎、獨川 哲吉
- 四 中央執行委員
 - 西村徳次郎
 - 高山 久藏
 - 皆川 利吉
 - 宇野信二郎
 - 森 栄一
 - 川島 禧三
 - 下澤 光雄
 - 今井 武吉
 - 橋本 芝吉
 - 赤中助三郎
 - 佐野 好男
 - 奥平 弘之

組織部報告

本年度の組織状態はさほめて健全に發展し、総聯合特力の健全味をもちつて組織の拡大を
見及、即ち此を前年度報告と比較して見ると

昭和六年度 二二六六九人 昭和七年度 二五四三七人の記録が現出

現在増加組合員数、二千七百五十八名の増加で、新加盟組合は九記の

備後港灣運輸労働組合、奥泉水上俵治者同盟、全国映画従業員組合、大阪映画従業員組
合、神戸炭坑労働組合、奥泉鏡山労働組合、和歌山合同労働組合等の七組合である。

一 安立従業員組合は城南技工組合と改め

二 奥泉硝産業労働組合は東京硝子工組合と改め

- 五 中央委員 高山 久藏、会原 春吉、村山 啓、小泉宗太郎、播磨 内巳
- 高橋 慶次、清原清之助、稲田永太郎、鈴木 力蔵、寺田進之助、川島 禧三、北村 豊
- 信田幸太郎、皆川 利吉、近藤 康麻、森 栄一、川島 禧三、北村 豊
- 風岡高次郎、山形今朝吾、石原松太郎、奥田 繁春、青木惣太郎、松本角太郎
- 土屋 一雄、矢沢 博、中浦 勇造、高橋 祐介、平沢 光雄、今井 武吉
- 橋本 芝吉、赤中助三郎、梁山角次郎、三谷 三平、北田 伸一、増田 孫市
- 難波 軍一、生山 秀吉、井中徳次郎、中江 甚助、坂本清太郎、長岡 留吉
- 大塚 寅雄、中川 麻市、香山 浩、大塚 憲、森脇 甚一、富塚 栄
- 佐野 好男、奥平 弘之